

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年7月27日

上場会社名 株式会社カインス 上場取引所 東
 コード番号 4556 URL http://www.kainos.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地史朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 林司 TEL 03-3816-4123
 四半期報告書提出予定日 2020年8月3日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	989	△9.4	161	84.3	166	86.2	124	183.0
2020年3月期第1四半期	1,091	△7.4	87	△55.8	89	△55.6	43	△68.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	29.75	—
2020年3月期第1四半期	11.18	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,519	68.2	4,447	68.2		
2020年3月期	6,744	65.0	4,381	65.0		

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,447百万円 2020年3月期 4,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,100	△7.8	220	△31.5	220	△31.5	140	△36.7	33.48
通期	4,500	△2.4	450	△26.1	450	△27.0	300	△24.7	71.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	4,558,860株	2020年3月期	4,558,860株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	377,156株	2020年3月期	377,156株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	4,181,704株	2020年3月期1Q	3,934,204株

(注)期末自己株式には、「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式(2021年3月期1Q 275,500株、2020年3月期 275,500株)が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2021年3月期1Q 275,500株、2020年3月期1Q 278,000株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大に伴い、社会生活及び経済活動が大きく制限された影響により景気が落ち込みました。5月25日に緊急事態宣言が全面解除されたことで、経済活動の再開が徐々に進んでおりますが、未だ終息には至らず感染拡大第2波への警戒から、先行きが見通せない状況にあります。

臨床検査業界においても、新型コロナウイルス感染に関する検査技術や診断薬の開発・販売状況等に注目が集まる一方で、医療機関の外来停止や定期健診を含む患者の受診控え、さらには個人や集団の感染症予防対策の強化に伴う患者の減少等の影響が認められました。

このような環境の下、当社でも緊急事態宣言下での医療機関への訪問規制や外来患者数の減少等から、当第1四半期累計期間における売上高は、9億8千9百万円(前年同期比9.4%減)となりました。検査分野別で見ると、生化学検査分野は、検体検査数減少の影響から5億1千2百万円(前年同期比9.0%減)、免疫検査分野は、輸血検査試薬などの製品が堅調に推移したものの、感染症POCT商品が減少し4億4千3百万円(前年同期比11.0%減)となりました。また、その他の分野におきましては、3千3百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

一方、緊急事態宣言下での営業活動の自粛や業界全体の学術活動、学会・セミナーの中止延期に伴う活動費減少と経費実行時期の見直し等の効果もあり、営業利益は1億6千1百万円(前年同期比84.3%増)、経常利益は、1億6千6百万円(前年同期比86.2%増)、四半期純利益は、1億2千4百万円(前年同期比183.0%増)となりました。

検査分野別売上高

(単位:千円)

		前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	
		金額	構成比	金額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	541,734	49.6	498,544	50.4
	免疫血清学的検査用試薬	307,411	28.2	326,341	33.0
	その他	29,838	2.7	32,811	3.3
	計	878,984	80.5	857,697	86.7
商 品	生化学的検査用試薬	21,272	1.9	13,943	1.4
	免疫血清学的検査用試薬	190,552	17.5	117,016	11.8
	その他	533	0.0	575	0.1
	計	212,357	19.5	131,535	13.3
合 計	生化学的検査用試薬	563,006	51.6	512,487	51.8
	免疫血清学的検査用試薬	497,963	45.6	443,358	44.8
	その他	30,372	2.8	33,387	3.4
	計	1,091,342	100.0	989,232	100.0

(注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産の額は、65億1千9百万円となり、前事業年度末と比べ2億2千4百万円の減少となりました。流動資産は36億6千5百万円となり、前事業年度末と比べ1億4千万円の減少となりました。その主な要因は、たな卸資産4千3百万円等が増加したものの、現金及び預金7千1百万円、受取手形及び売掛金1億1千8百万円等がそれぞれ減少したことによります。固定資産は28億5千4百万円となり、前事業年度末と比べ8千4百万円の減少となりました。その主な要因は、投資有価証券1千万円等が増加したものの、繰延税金資産5千4百万円、減価償却費の進捗3千4百万円等がそれぞれ減少したことによります。

当第1四半期会計期間末における負債の額は、20億7千2百万円となり、前事業年度末と比べ2億9千万円の減少となりました。その主な要因は、借入金9千万円、預り金4千4百万円等がそれぞれ増加したものの、支払手形及び買掛金7千7百万円、未払法人税等1億3千2百万円、未払費用7千6百万円、未払金7千2百万円、賞与引当金5千万円等がそれぞれ減少したことによります。

当第1四半期会計期間末における純資産の額は、44億4千7百万円となり、前事業年度末と比べ6千5百万円の増加となりました。その主な要因は、配当金6千6百万円の支払いをしたものの、その一方で、四半期純利益1億2千4百万円を計上したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の業績は、利益面は期初計画を上回り推移しておりますが、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は不確実性が高いため、2020年5月8日付「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」でお知らせしました第2四半期累計期間及び通期業績の予想は変更していません。今後も当該感染症の影響を注視し、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,964,245	1,892,448
受取手形及び売掛金	1,201,219	1,083,025
商品及び製品	361,294	371,753
仕掛品	56,307	78,122
原材料及び貯蔵品	190,542	201,395
その他	32,393	38,726
流動資産合計	3,806,003	3,665,472
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	580,492	571,540
土地	1,786,539	1,786,539
その他(純額)	172,329	151,217
有形固定資産合計	2,539,360	2,509,296
無形固定資産	138,206	127,986
投資その他の資産	261,063	216,919
固定資産合計	2,938,630	2,854,203
資産合計	6,744,633	6,519,676
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	495,558	417,748
短期借入金	500,000	690,000
未払法人税等	142,495	10,010
賞与引当金	118,671	68,100
その他	591,386	468,673
流動負債合計	1,848,111	1,654,531
固定負債		
長期借入金	400,000	300,000
株式給付引当金	4,730	4,730
役員株式給付引当金	16,349	23,291
その他	93,972	89,705
固定負債合計	515,052	417,727
負債合計	2,363,163	2,072,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	2,868,482	2,926,049
自己株式	△259,662	△259,662
株主資本合計	4,368,967	4,426,534
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,502	20,883
評価・換算差額等合計	12,502	20,883
純資産合計	4,381,469	4,447,417
負債純資産合計	6,744,633	6,519,676

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,091,342	989,232
売上原価	579,732	443,377
売上総利益	511,609	545,855
販売費及び一般管理費	424,023	384,414
営業利益	87,585	161,441
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,140	3,132
為替差益	871	3,684
その他	25	164
営業外収益合計	4,037	6,981
営業外費用		
支払利息	1,969	1,945
手形売却損	146	—
その他	213	189
営業外費用合計	2,329	2,135
経常利益	89,294	166,287
税引前四半期純利益	89,294	166,287
法人税、住民税及び事業税	3,023	△10,038
法人税等調整額	42,300	51,900
法人税等合計	45,323	41,861
四半期純利益	43,970	124,425

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。